

有朋

「有朋自遠方来」



有朋会会報第 40 号
令和 3 年 7 月 1 日



石を磨きその「美しさ」を知る。今できる「工夫」を！

有朋会会長 山田直行

今年も、ふるさとの麦畑は黄金色に波打つ季節になりました。昨年 3 月、世界保健機関 (WHO) は新型コロナウイルスのパンデミック (世界的大流行) を宣言しました。あれから 1 年以上が経過しましたが、いまだ出口の見えない不自由な生活を強いられています。全国の有朋会会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

そんな中、母校、佐賀大学は、今年 4 月 2 日、新入生の学生と昨年できなかった学生の入学式を 2 回に分けて行いました。学生の皆さんにとっては生涯忘れられない思い出となった事でしょう。

さて、有朋会の活動状況は例年通りが通用しない日々で、昨年 8 月の本部総会や各支部の総会、大学との意見交換会、就職対策講座などが中止となりました。しかし、いくつかの小会議や催しなどは、慎重に感染対策を講じて行いました。また、全学部 (6 学部) の会長会議などはリモートでの実施となりました。昨年行われなかった教員採用試験対策講座は、今年 4 月からすでにオンラインでの講義が始まっています。

また、有朋会の最も重要な行事の一つである「追悼会」は、昨年 11 月 15 日佐賀市願正寺で厳粛に行われ、例年以上の参列者がありました。また当日は、城内公園の一角

にあります『有朋の碑』の改修落成式を挙行了しました。式では全学同窓会の川副操会長、佐賀大学教育学部板橋江利也学部長より祝辞を賜り、秋空の下、晴れやかな式典となりました。この『有朋の碑』は、有朋会 80 周年の記念事業として、ゆかりある旧佐賀師範学校跡地に設営された記念碑です。その後半世紀の風雪により損傷が目立っておりましたが、今回の改修で当初の輝きを取り戻すことができました。重量 3 トンの白い徳山御影に刻まれた「有朋」の文字は金色に輝き、伝統ある有朋会のダイナミズム (内に秘めたエネルギー、活力) を象徴するかの様に周りの景観を明るく圧倒しています。

育英の道に志し、青春の夢を抱いて、集い学んだ朋がありました。あらためて「有朋の碑」の「美しさ」に感動し、その志の崇高さを思い起こすことができました。今こそ、心の絆をさらに強く、つながる「工夫」が大切だと思います。そこで、有朋会命名由来の「論語 学而第一」(米倉基峰先生揮毫) の色紙の作成や、2 年後の有朋会 135 周年での「記念誌」の刊行などを計画しております。コロナ禍の毎日ですが、皆様の多くの知見をお寄せいただき、ご協力いただければ幸いです。

「白珪尚可磨 (はっけいなおみがくべし)」



ふるさとスケッチ

なだらかな山並みに抱かれて、白梅のほのかな香りが漂う山里。佐賀市富士町大野地区最古の禅寺金福寺。この寺は日本の司法制度の確立に尽力し、初代司法卿となった江藤新平が、脱藩の罪で永蟄居 (長期謹慎) を命じられていた時に居住していた所。江藤はここで付近の子ども達に習字や漢文を教えていたという。

明治 5 年、元佐賀藩士大木喬任 (初代文部卿)、江藤新平 (文部大輔) らによって、日本で最初の教育改革「学制」が頒布された。そして近代日本の教育が始まった。

この山里には名物の北山饅頭がある。その懐かしい素朴な甘さに温故知新の味がする。



春を待つ山里の寺 (佐賀市富士町)

会員の皆様より



デザインを通して豊かな日常を

H13年卒 文化教育学部美術・工芸課程 江副 哲 哉

デザインと聞くと、“オシャレ・カッコイイ・カワイイ”と連想される。その“デザイン”に対するイメージを改めて再定義したいと考えています。私は、デザインとは自身が持っているありのままの感性（センス）を表現でき、人との関わりを生み出す豊かな人生や社会を創っていける手法だと思っています。

私自身、デザイナーとして仕事をする時、人との関わりを大切にしています。身近なデザイナーと言われるよう、いつでも相談でき、きちんと対話しながらその人の思いに合ったアイデアを提案できるように意識をしています。

そして、子どもたちへのデザイン教育にも力を入れています。子どもに関わるワークショップでは、大人の価値観で子どもの可能性を狭めるのではなく、個々の光るところを探して発揮させ、ひとりになりやすい子も輪に入れるようサポートしています。デザインという手法をつかって、心の豊かさが子どもたちに伝わると良いなと思っています。

モノの観方も大切にしています。アイデアが煮詰まる事もあり、ふと外に出て散歩をしている時の方がアイデアは浮かびます。私には子どもがいますが、子どもが見る世界を子どもの視点で想像する事もとても楽しいです。子どもはいつも初めて見る世界と出会います。その初めて出会う世界の感覚を、どのように見ているのか。それを想像するだけで楽しいし、仕事のアイデアにも繋がります。デザインで豊かな日常を。



日常のデザインを伝えるワークショップ



卒業後の進路

H28年卒 文化教育学部人間環境課程 築 城 昇 平

私は佐賀大学を卒業後、佐賀県庁の非常勤職員を2年間経験し、現在は唐津市役所に勤務しています。

学生時代は、文化教育学部人間環境課程の地域生活文化分野に所属し、初めは歴史が好きだったこともあり、社会科の教員を目指していました。しかし、授業で考古学という分野があって、行政に文化財専門職があるということを知ってからは、文化財専門職に就きたいと考えるようになりました。それからは、重藤先生に多くのご指導をいただいて、自分が志した道に進むことができました。非常に感謝しています。

そして、今はその志望どおりに文化財の係に所属しています。主に、開発の際の問い合わせ対応や事務、発掘調査の業務を担当しています。仕事では、悩んだり、失敗したりすることもあります。上司や先輩からご指導いただきながら、日々精進しています。

唐津は文化財において、国特別史跡の肥前名護屋城や特別名勝の虹の松原、国史跡の唐津松浦墳墓群、市指定史跡となった唐津城など、非常に魅力のある地域です。それらの文化財の保護や活用に関われることに感謝しつつ、貢献できるように努力していきたいと思っています。



発掘調査の様子

「出会えてよかった」を目指して



R2年卒 鳥栖・基山支部 納 富 里 美

子どもの頃から憧れていた小学校教師となり、夢いっぱいでのスタートは、大規模校の鳥栖市立鳥栖北小学校で2年生担任でした。夢が叶った、さあやるぞと意気込んでいた矢先、新型コロナウイルスで臨時休校が長く続き、感染予防を意識しての子ども達との初対面はマスクで顔の表情もわからないという不安だらけの始まりでした。しかし、周りの先生方の子ども目線の的確なアドバイスや温かく支えて頂いたおかげで、初任1年間を終えることができた感謝の気持ちでいっぱいです。

学校は、毎日子ども達と会い、関わるのが当たり前だと思っていましたが、当たり前だと思う日常は、それぞれの努力と皆の協力で成り立っていたことを改めて感じました。子どもの頑張りを思いっきり褒めることの大切さ、時には厳しく叱ることの必要性、あえて口を出さない余裕のある言動など指導力の向上を目指して、この1年間たくさんのことを学んできました。

子どもの「でも」「だって」が、1年を通して「そして」「それから」と変わる心の変化や反応を側で見て、成長していく様子や感動できる喜びを肌で感じ、教師という仕事は、私にとって天職だと思える1年でした。

また、4月から新しい学年のスタートです。初任者ではなくなりますが、自分自身の課題を意識して、自己研修を続け、「この先生に出会えてよかった」と思ってもらえるような教師を目指していきます。



授業の様子

向島ノスタルジア

S60年卒 小城・多久支部 勝 原 理



35年間の教職生活を閉じようとする今、向島小学校での3年間は妙に思い出される。

住民125名、児童生徒25名、教職員13名。小中併設校で子どもの数に対して教職員が多い学校だった。職員の年齢層も若く、管理職を除けば、ほとんどが20~30代だった。初めて経験する複式学級での授業。休み時間は運動場で教員も一緒に遊んでいた。5月のウニ漁解禁に合わせて、学校磯でウニ取りをし、修学旅行の資金に充てていた。

職員は宿舎で暮らし、まるで合宿生活のようだった。夜は集まって酒を飲みながら教育論も含め様々な話をしたのを覚えている。受け持つ子どもたちの数は少なく、時間だけはふんだんにあった。子どもたちに合わせた授業の工夫は思う存分できた。

今のように多くの情報や機器があったわけではない。しかし、環境と子どもたちと教職員が一体となって、学ぶことができた貴重な3年間であった。

あれから30年以上たち、学校は向島小中学校から入野小学校向島分校を経て、現在休校となっている。

退職し、リスタートを切る自分を鼓舞するためにも、コロナが落ち着いたら島を訪れてみたい。



唐津市肥前町向島全景



ある老人の背中から

S62年卒 佐賀市西部支部 牟田尚敏

50歳からマラソンを始めた。久しぶりに福岡に住む後輩と飲んでいたらロードレース参加の話が出て、その場のノリで引っ込みがつかなくなったのがきっかけだ。

マラソンはいろいろな楽しさを私に与えてくれている。50を過ぎてもなお、成長することができる喜び。私のようなものでも応援してくれる沿道の人々の温かさ。大会が始まる前の高揚感と痛みや苦しさを乗り越えゴールした時の得も言われぬ充実感。そして、走ることで増えた仲間と飲む酒の旨さ…。そんな楽しさを味わえるようになったのも、ある老人のおかげである。

「私は齢（よわい）80を超えました。どうぞ遠慮なく、かまわず抜いていってください。」初めてハーフマラソンに出た時、颯爽と私を追い抜いていった背中には、手書きでそう記してあった。カチンと来た。「30も年が上の老人に負けるか！」と…。しかしその背中は、どんどん小さくなり、私がどう頑張っ

ても、その後二度と捉えることはできなかった。

「他人と競ったり、比べたりして一喜一憂しても仕方ない。ただ、自分のペースで前に進むより他はない。」ご老人の背中はそのように教えてくれたのだと、今ではありがたく思う。

沿道にも目を向けいろんな美しさを感じながら、折り返しの人生を一步一步、前へ！



マラソン大会に仲間と参加



変わらないもの

H元年卒 神埼支部 林寛

令和になり、新しい時代の幕開けとなった一昨年、以前勤務したことがある学校に勤めることになった。時が流れ、元号は変わっても、学校の周りの樹木や田畑、北に連なる脊振山系の山々、美しく流れる田手川など、変わらない豊かな自然と、朝から元気に外で遊んでいる子ども達の変わらない笑顔。ふっと昔に戻ったような感覚になることがある。

もうひとつ、昔と変わらないものが学校の正門のところにある。正門の左右に建っている「努力」と「根性」という言葉が大きく彫られた二つの石碑である。

「努力」と「根性」というこの二つの言葉は、昭和を思わせる感があり、我々が子どもの頃には、ドラマやマンガでもよく使われていた言葉だった。そ

れが、今は努力や根性を前面に出すことは、「時代遅れ」「格好悪い」というような見方をされる世の中の風潮になっている。改めてこの二つの石碑を見たときに、そんな時代の流れの中でも、子どもたちが、努力や根性で課題を克服し、成長する姿をきちんと認め、「よく頑張ったね」という声をかけ、正しい評価をしていけるようにしたいと思っている。



「努力」の石碑

白石壽文先生に感謝



S63年卒 藤津・鹿島支部 池田直人

地区の授業好き、国語好きの先生方を募って、令和2年12月23日から「茶話会」がスタートした。「茶話会」を辞書で引くと「茶を飲んだり菓子を食べたりしながら談話を楽しむこと」とある。コロナ禍のため我々は何も食さず、若い先生方とただ愉快地語り合う。教材や児童の話に花が咲く時間が有難い。

「池田も来てみるか」32年程前に恩師に掛けられた一言である。当時わたしは教職生活1年目で、夏のある土曜日に佐賀大学近くの定食屋で後に妻となる圭子さんと共に昼食をとっていた。そこでばったり大学時代からの恩師と再会した。先生は、当時50歳を超えておられたが、熱心に打ち込んでおられたテニスでは、フォアのクロスボールが地面を這うように伸びていくので、わたしはラケットをかすらせることさえ出来ないことしばしばであった。先生は30歳を過ぎたばかりの若手の先生方と「八人会」を立ち上げられ、国語教育談義で激しいラリーの応

酬を毎月1度積み重ねておられた。定食屋の扉を出ていかれる先生は、ふと足を止めてこちらに振り向かれ「池田も（勉強会に）来てみるか」とただ一言声を掛けていかれた。

その後「国・語・会（国語を愉しく語る会）」へと名称を変え25年間、先生の教えを受けることができたのは、わたしにとって最大の幸運であった。まだまだ先生と学び足りない。



「白石壽文先生を囲む会」集合写真

新型コロナウイルス対応に思うこと

H4年卒 江北支部

令和2年度は、全国すべての学校が新型コロナウイルス対応に苦慮した1年だったのではないだろうか。どの学校も日頃の感染対策とともに、入学式、卒業式、体育大会、修学旅行等々の学校行事をどうするかを考えなければならなかったからである。

昨年度から新型コロナウイルスの対応で重要なことは、いかに組織的に対応するかだと考えていた。そのため、学校保健委員会を新型コロナウイルス対策委員会と位置づけ様々なことを検討してきた。今年度も委員会の中で一つ一つを「どうすればできるか」ということで知恵やアイデアを出し合い、議論した。話し合いが長時間になることもあった。アイデア検証の時間も確保する必要があった。アイデアを実行するために業務が増え、職員の負担は大きかったと思う。結果的に実施を断念したものも

古川孝宏



あったが、時間はかかっても丁寧に議論し対応を検討していったことが、学校の組織的対応力を向上させたように感じる。この組織的対応力は、新型コロナウイルス対応に限ったことではなく、学校としてはとても重要な要素であろう。

ワクチンの接種と治療薬の開発が進み、以前のよ様な日常が戻るまで、「どうすればできるか」を丁寧に議論し組織的対応を続けていきたい。



小中一貫校 大町ひじり学園の校舎



出会いを活かそう

S47年卒 近畿支部 猿 渡 千 歳

人生の節目には素晴らしい出会いが何度かある。まずは、理科仲間との勉強会である。授業を録音し、進め方などをお互いに指摘しあった。また、板倉聖宣の仮説実験授業「もしも原子が見えたなら」等の授業書をもとに授業を行った。仲間とその授業について、生徒の反応等を検証し、生物の世界や気象などの手引きを作って指導に励んだ。自己の専門性を高める時であった。そして、昭和58年の夏には『楽しく学ぶ動物園・博物館』（たたら書房）を共著出版することができた。私の担当は、当時はやっていた地図とコンパスでまわるオリエンテーリングを、地図とクイズで楽しく学ぶ動物園の学び方がきっかけである。動物の種類ごとに見学コースとクイズを

作成し、細かく観察させるように配慮した。そのため、小・中学校で、動物園を見学会（遠足）で活用されるようになったことは喜びである。

30代の半ば過ぎに、次の節目がきた。よき管理職にめぐり合い、管理職を目指すことになった。物を見る視点の勉強が始まった。管理の視点等が入るようになり、教育界の流れに強い関心を持つようになった。平成元年度の新学習指導要領が発表されると繰り返し読み、要約して会合で発表、共に学んだ。そのことが評価されたのか、平成2年度に大阪市の指導主事として、大阪市役所に入った。ここから20年急行列車に乗ったような日々だったが、有意義な時を送ることができた。



ありがたい初任地での貴重な体験

S60年卒 伊万里・西松浦支部 伊 東 雅 和

「赴任先は肥前町立納所^{のうき}小学校です。」唐津の総合庁舎でそう告げられたのは30数年前のことです。約束の期日に意気揚々と軽トラに荷物を積んで、春休み中の学校に行きましたが、校長先生が借りてくださった貸家の鍵がまだ届いていないということで、2日間学校の保健室に泊まるというハプニングから私の教員生活はスタートしました。

納所小学校は、当時僻地一級地と呼ばれる地区にあり、教職員のほとんどが車で1時間ほどかけて唐津市などから通勤していました。また、毎年のように新採が配置され、ほとんどが3年で出て行くという学校だったのですが、何より楽しく居心地が良かったので、気がついたら6年間もお世話になっていました。

夕方教室に残って仕事をしていると、農作業を終えた保護者が「遅そうまできばいよるね。」とパンと牛乳を差し入れしてくださったこともありました。夜、借家に帰ると玄関前に米や野菜が置いてあるこ

とも。卒業式の飾りづくりが間に合わなかったとき、「この続きは先生の家で。」と、私の借家で子ども達が泊まりがけで作ったこともありました。

今では考えられないような自由で古きよき時代を経験できたこと、そして、そこで得た地域の方々や子ども達とのあたたかいつながりが、その後の私の教員生活を支えてくれていた気がします。若い時代にありがたく貴重な体験ができたことに今更ながら感謝しています。



懐かしい卒業式の集合写真

支 部 便 り

近 畿 支 部

近畿支部の起こりについてお話したい。昭和61年5月、大阪市立学校の杉山茂樹、米倉厚司、西山大之進の3人の校長からの会合案内から始まった。案内文の中に「…佐賀人気質で、孤高を美德…」という言葉が、佐賀大学で育った私たちの心に響いた。その声かけに20名ほどが集まった。これが初会合だった。これをきっかけに第2回が昭和63年10月に開催された。名簿も34名となり「葉隠」の会（仮称）を名乗った。着実に物事を進める「佐賀気質」が生かされて、近隣の府県にも声をかけあつた。

平成元年8月に有朋会近畿支部総会開催。昭和4～47年卒まで59名を擁し、各府県の世話係も決め支部が誕生した。世話係は愛知一渡辺寿子（S6卒）、滋賀一宮永規義（S7卒）、京都一萩原俊作（S19卒）、奈良一西山大之進（S25卒）、大阪一山口豊（S28卒）、福井一長岡ヌイ（S11卒）、兵庫一森文男（S25卒）の方々でのスタートである。杉山支部長、山口支部長、猿渡（H21～）とどうつながるかは次回にでもお話したい。

（近畿支部長 猿渡 千歳）



第1回近畿支部総会参加

佐 賀 市 東 部 支 部

佐賀市東部支部は、現在、城東中校区（城東中、循誘小、巨勢小、兵庫小、芙蓉小中）、川副中校区（川副中、南川副小、西川副小、中川副小、大詫間小）、成章中校区（成章中、勸興小、神野小）、城南中校区（城南中、赤松小、北川副小）、諸富中校区（諸富中、諸富北小、諸富南小）の5つの中学校区となっています。

支部役員もこの校区ごとの輪番制となっており、今年度は、南川副小学校でお世話させていただきました。令和2年度有朋会佐賀市東部支部の総会並びに懇親会を1月下旬に計画をし、懇親会では、学校現場で頑張っている新規採用の有朋会会員も交え、励みとなる会にできればよいなとも考えていました。

しかし、その後、新型コロナウイルス感染者が全国的に急増し、本部とも相談をした結果、感染拡大防止のために令和2年度有朋会佐賀市東部支部の総会並びに懇親会を中止することを決定いたしました。

一日でも早く、新型コロナウイルス感染症が収束し、安心して、総会や懇親会ができるようになることを願っております。

（佐賀市東部支部長 熊本 輝美）



新採会員の授業風景

藤 津 ・ 鹿 島 支 部

令和2年5月現在、有朋会藤津・鹿島支部には鹿島市・嬉野市・太良町内の25小中学校に137名の現職会員と、各小学校区ごとに210名の退職会員がおり、総計347名で構成されています。

藤津・鹿島支部では例年、年間2回の代議員会と6月に支部学校委員会を行い、会員名簿の点検・更新、会費集金業務等を進めてまいりました。また、7月には支部最大の行事であります「総会及び懇親会」を鹿島市内で開催し、古希該当会員及び新規採用会員へのお祝い等を行うとともに、会員相互の親睦を図ってまいったところでございます。会の中で、現職会員は退職会員の先輩方の示唆に富むお話を伺いながら元気をいただくとともに、現在の状況等をお知らせする貴重な機会として脈々と続いてきたところです。

ところが、この度のコロナ禍による未曾有の状況の中で今年度活動できたのは、会費集金と本部への納入、古希・新採祝をお渡しすることぐらいでした。毎年顔を合わせて語り合った皆様の様子が気になりますとともに、来年度はアフターコロナの中でワクチン接種が進み、支部の活動が滞りなく行われるようになりますことを切に祈念しております。

（藤津・鹿島支部長 光岡 民夫）



地区のシンボル「赤門」

本 部 か ら

あの時のあの絆を！ あの頃のあの思い出を！
一筆したためてみませんか？

会員の絆と思い出を 有朋会の思い出を 自由に綴り合う
有朋会135年記念誌に！！ 原稿自由投稿募集！！

思い出の写真

(1～2枚内)

写真の下に3～5行内でコメントを！
※1行を15文字以内で厳守。
最後に(支部名・卒年・氏名)
※連絡用の電話番号を記載する。

あの時・あの頃の思い出

原稿用紙(縦書き)

・400字×2枚半以内

・1行目にタイトルを表示

・PC文字の横書きも可

(1,000字以内を厳守)

(写真は文字数内に入れる)

最後に(支部名・卒年・氏名)
※連絡用の電話番号を記載する。

〔発行〕

有朋会135年記念誌編集委員会

〔発行予定〕 2023年8月

〔原稿募集期間〕

2021年6月～2022年1月末日

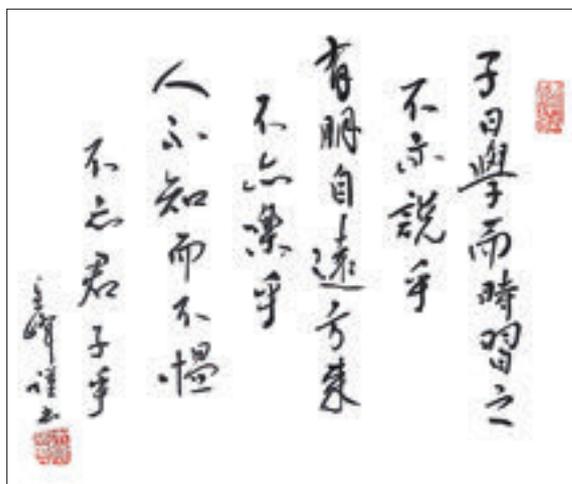
〔原稿届け先〕

〒840-8502 佐賀市本庄町本庄1
佐賀大学菱の実会館内
有朋会事務局 宛

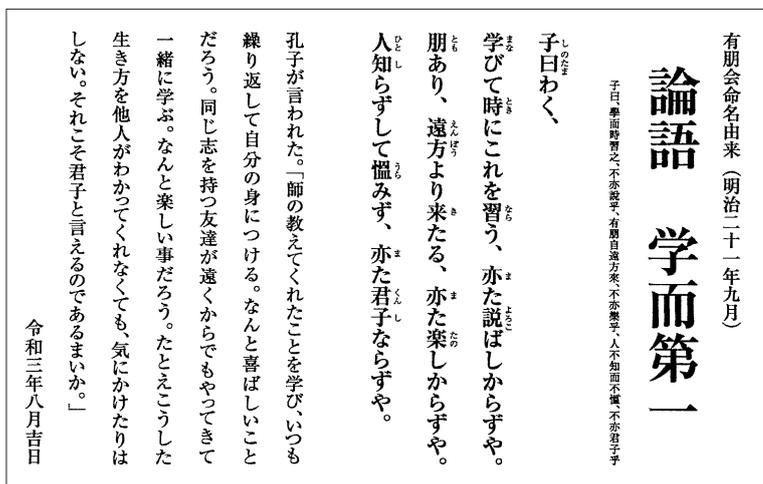
有朋会命名由来のステキな色紙作成！！

明治21年、有朋会発足時の命名由来である「朋有り、遠方より来る、亦楽しからずや」の「論語 学而第一」の全語句が、流麗な筆致の素敵な色紙になります。書家の米倉基峰先生（S33年卒）の揮毫によるものです。

会員の長寿のお祝いや学生の卒業祝いの記念品として、また今日のコロナ禍の時代を乗り切る、心の絆のリマインドツールとして活用・配布の予定です。

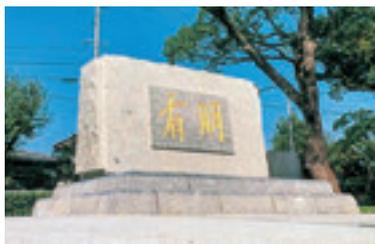


米倉基峰先生の揮毫による色紙



「論語 学而第一」の訳

『有朋の碑』改修落成式 報告



改修後の「有朋の碑」



「有朋の碑」の除幕



本部役員記念写真

佐賀大学教育学部の同窓会「有朋会」では、令和2年11月15日（日）に、佐賀市城内1丁目にある前身の佐賀県師範学校の跡地で記念の石碑「有朋の碑」の改修落成式を執り行いました。佐賀県師範学校は、1884年の創設。「有朋の碑」は1967年、同窓会発足80周年記念事業として設営されたものです。その後、半世紀の時を経た長年の風雪により、損傷が目立つようになっていました。この度の改修では、多くの皆様のご尽力、ご協力により、再び当初の輝きを取り戻すことができました。厚くお礼を申し上げます。

当日は、全学同窓会 川副操会長様及び佐賀大学教育学部長 板橋江利也様からも祝辞を賜り、会員並びに工事関係者の皆様 約50名の出席を得て、無事に改修落成式を終了することができました。

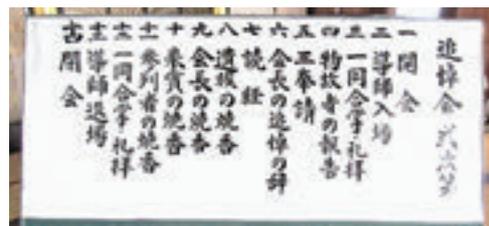
追悼会 報告



願正寺での受付の様子



焼香をする参列者の皆さん



式次第

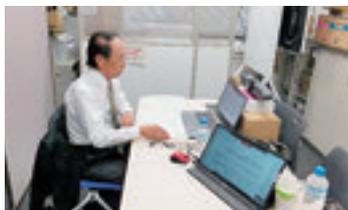
令和2年11月15日（日）10時より、佐賀市 願正寺において、令和2年度に報告がありました物故者71名の会員の方々の追悼の法要を行いました。当日は、ご遺族の皆様はじめ、本部役員、有朋会各支部の支部長の皆様のご出席をいただき、物故者の方々のご遺徳をしのび、厳粛に執り行うことができました。（参列者56名）

学生就職支援について

「教員採用試験対策講座」

「有朋会」では、後輩の皆さんへの支援事業として、毎年、学生就職支援を実施しています。今年も4月21日（水）の「受験ガイダンス」を皮切りに、5月26日（水）までにすでに11回の講座を行いました。参加についても、学部・学年は問わず、第1回目はリモートで54名の参加があり、のべ参加人数は119名となりました。昨年は、コロナ禍で中止。一昨年の実績は321名でした。

【リモートによる講座】



新型コロナウイルス感染予防のため、「自己PRの書き方」や「1次試験対策」等をオンラインで指導する谷口浩先生。

【マンツーマンの自己PR指導】



「自己PR」や「回答のポイント」等について、マンツーマンで丁寧に指導する志藤俊明先生。

令和3年度 有朋会本部・支部行事計画

| 月 | 日 | 曜 | 本 部 行 事 | 備 考 |
|----|----|---|--|------------------------|
| 4 | 1 | 木 | 教職員異動新聞発表(異動による名簿更新) | ※各支部で会員把握 |
| | 2 | 金 | 佐賀大学入学式 大学院オリエンテーション | ※代議員名簿締切 4月26日 |
| | 5 | 月 | 佐賀大学学部オリエンテーション | |
| | 7 | 水 | 第1回正副会長会(18:00~) | ※採用試験支援 4月21日~ |
| | 17 | 土 | 第1回本部役員会(15:00~) | 菱の実会館多目的室 |
| | 23 | 金 | 有朋会支部役員名簿提出締め切り | ※締切 4月23日 |
| 5 | 12 | 水 | 第2回正副会長会(18:00~) | 菱の実会館小会議室 |
| | 14 | 金 | 会報40号原稿集約〔3月26日支部原稿締切〕 | |
| | 26 | 水 | 会報40号第1回編集会議(2回校正) | 会報部会 |
| | 29 | 土 | 第1回代議員会(15:00~) 第1回135年記念誌編集委員会(17:00~) | 菱の実会館多目的室 |
| 6 | 1 | 火 | 会報発送者名簿確認 | ※サラトに確認 |
| | 9 | 水 | 会報40号第2回編集会議 | 会報部会 |
| | 14 | 月 | 県内現職会員数調査締切(各支部→本部事務局) | ※各学校ごとの名簿集約 |
| | 16 | 水 | 平2卒世話役代表者の打ち合わせ(19:00~) | 菱の実会館多目的室 |
| | 23 | 水 | 各部会実施予備日 | |
| 7 | 1 | 木 | 総会中止案内 本年度の物故者の確認依頼 | 会報に掲載 会員調査締切:退職含 |
| | 7 | 水 | 会報40号発行後、発送開始(各会員へ) 第3回 正副会長会(18:00~) | ※サラトに確認 菱の実会館小会議室 |
| | 30 | 金 | 会費納入=月末締切 | 会費納入締切1次(振込) |
| 8 | 4 | 水 | 学部との意見交換会(学部課程代表)【中止】 | 菱の実会館多目的室 |
| | 28 | 土 | 総会・懇親会 ガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピア【中止】 | ホテル&マリトピア |
| 9 | 30 | 木 | 本年度追悼対象者報告第1次締切 | 会費納入締切2次(振込) |
| 10 | 1 | 金 | 追悼会案内の発送 | |
| | 6 | 水 | 第4回正副会長会(18:00~) | 菱の実会館小会議室 |
| | 12 | 火 | 本年度追悼対象者報告 最終締切 | |
| | 23 | 土 | 本部役員会(15:00~) | 菱の実会館多目的室 |
| 11 | 13 | 土 | 佐大ホームカミングデー(未定) 願正寺との打合せおよび前日準備 事務局 | 対象:卒業生の全て |
| | 14 | 日 | 追悼会(願正寺)10:00~11:30 | 参加依頼(各支部3名程度) |
| | 27 | 土 | 佐賀県青春寮歌祭(13:00~) エスプラッツホール | |
| 12 | 8 | 水 | 第5回正副会長会(18:00~) | 菱の実会館小会議室 |
| 1 | 5 | 水 | 学部との意見交換会(学部課程就職担当)18:00 | 菱の実会館多目的室 |
| 2 | 19 | 土 | 第2回代議員会(15:00~) | 未納会費の納入締切 菱の実会館多目的室 |
| 3 | 23 | 水 | 佐賀大学卒業式(10:00~)・祝賀会(12:30~) | 教育学部 ・学校教育学研究科 |
| | 30 | 水 | 有朋会監査(10:00~) | 菱の実会館小会議室 |

令和3年度 有朋会(佐賀大学教育学部・文化教育学部) 役員一覧

| | 役 職 | 氏 名 | 卒業年 課 程 | 大 院 修 了 |
|----|--------|-------|------------|------------|
| | 顧 問 | 宮尾 正隆 | S36.美 | |
| 1 | 会 長 | 山田 直行 | S47.美 | |
| 2 | 副 会 長 | 山口久美子 | S41.小 | |
| 3 | 〃 | 江島きよ子 | S52.小 | |
| 4 | 〃 | 緒方 俊昭 | S52.美 | |
| 5 | 〃 | 黒木 正孝 | S53.小 | |
| 6 | 〃 | 梶島陽一郎 | S56.中 | |
| 7 | 幹 事 | 砂後 典之 | S59.小 | H08.院 |
| 8 | 幹事(大学) | 岡 陽子 | S54.中 | |
| 9 | 〃 | 中村 隆敏 | S61.美 | H15.院 |
| 10 | 〃 | 徳安 和博 | H02.美 | |
| 11 | 〃 | 堤 公一 | H06.小 | H08.院 |
| 12 | 〃 | 林 裕子 | H14.学 | |

| | 役 職 | 氏 名 | 卒業年 課 程 | 大 院 修 了 |
|----|---------|-------|------------|------------|
| 13 | 幹事(大学) | 鳥谷さやか | H20.美 | H22.院 |
| 14 | 幹事(現職) | 田中 裕子 | S61.小 | |
| 15 | 〃 | 中村 尚志 | H03.小 | |
| 16 | 幹 事 | 三宅 敏宏 | H07.総文 | |
| 17 | 〃 | 小石 克 | H08.総文 | |
| 18 | 幹事(本庄小) | 富吉 猛 | S60.小 | |
| 19 | 幹事(城西中) | 未 定 | | |
| 20 | 幹事(附属小) | 豆田 幸彦 | H03.小 | |
| 21 | 幹事(附属中) | 永田 康子 | | H21.院 |
| 22 | 幹事(附属特) | 山北 史隆 | H07.中 | H09.院 |
| 23 | 監 査 | 末次 利隆 | S51.中 | |
| 24 | 〃 | 宮崎 祐治 | S54.小 | |
| 25 | 事務局長 | 竹下 敬教 | S51.中 | |

令和2年度決算報告・令和3年度予算

【歳入の部】

| 費目 | 令和2年度 執行額 | 備考 | 令和3年度 予算額 | 備考 |
|------|------------------|------------------------|------------------|-----------------|
| 会費 | 5,032,688 | 2,000円×2,516名 | 5,200,000 | 2,000円×2,600名 |
| 準会員費 | 1,034,000 | 入学時10年会費(教育94名)芸・地・テ独立 | 1,012,000 | 入学時10年会費(教育92名) |
| 繰越金 | 745,644 | 令和元年度繰越金 | 937,069 | 令和2年度繰越金 |
| 利息 | 49,010 | 利息等(寄附等) | 10 | 利息等 |
| 合計 | 6,861,342 | | 7,149,079 | |

【歳出の部】

| 費目 | 令和2年度 執行額 | 備考 | 令和3年度 予算額 | 備考 | |
|---------|------------------|--------------------|-------------------|------------------|-----------------|
| 事業費 | 総会 追悼会費 | 292,174 | 追悼会参加者56名 | 700,000 | 祝詞、総会・祝賀会補助等 |
| | お施餓鬼費 | 26,461 | 御仏前+供花 | 30,000 | 御仏前+供花 |
| | 慶弔慰問費 | 215,000 | 弔慰金、現金書留含む | 300,000 | 弔慰金、現金書留含む |
| | 会員名簿費 | 22,330 | 各支部名簿作成と配布 | 50,000 | 各支部名簿作成と配布 |
| | 会報費 | 339,200 | 有朋39号発行 | 400,000 | 有朋40号発行 |
| | 支部助成金 | 330,000 | 各支部助成金 | 300,000 | 各支部助成金、講演補助等 |
| | 渉外費 | 100,000 | 会長活動費、渉外活動費 | 100,000 | 会長活動費、渉外活動費 |
| | 新入会員歓迎費 | 47,025 | 卒業記念品(祝詞・タオル)150名 | 60,000 | 卒業記念品(祝詞・タオル) |
| | 支援活動費 | 0 | 就職支援講座中止 | 250,000 | 就職支援講師謝礼等 |
| | 新規事業 | 32,520 | 有朋の碑落成祝餅代 | 200,000 | 135年記念誌作成等 |
| 小計 | 1,404,710 | | 2,390,000 | | |
| 会議費 | 支部長合同会議費 | 31,500 | 支部役員招集 | 140,000 | 支部役員招集 |
| | 役員会費 | 105,916 | 正副会、本部役員会等 | 140,000 | 正副会、本部役員会等 |
| | 監査費 | 10,000 | 監査費(2名分) | 10,000 | 監査費(2名分) |
| | 諸費 | 64,802 | 会報原稿お礼、有朋の碑神事等 | 300,000 | 全学地区会、各種祝儀等 |
| | 旅費 | 28,500 | 有朋の碑関係旅費等 | 400,000 | 全学同窓会旅費、支部総会等旅費 |
| | 学部事務打合せ費 | 0 | 学部との意見交換会中止 | 140,000 | 学部との意見交換会 |
| | 小計 | 240,718 | | 1,130,000 | |
| 需用費 | 備品費 | 3,400 | 職員録等 | 5,000 | 職員録等 |
| | 消耗品費 | 80,888 | 事務用品等(角2封筒代等) | 80,000 | 事務用品等 |
| | 通信費 | 106,455 | 郵送料の値上げ | 200,000 | 郵送料の値上げ、郵送量の増加 |
| | 振り込み手数料 | 0 | | 1,000 | |
| | 印刷費 | 43,132 | 事務局印刷費(コピー) | 80,000 | 事務局印刷費(コピー) |
| 小計 | 233,875 | | 366,000 | | |
| 事務費 | 事務局活動費 | 1,320,000 | 11万×12月 | 1,320,000 | 11万円×12月 |
| | 小計 | 1,320,000 | | 1,320,000 | |
| 10年会費備蓄 | 465,000 | 入学時10年会費(教育)93名納入分 | 460,000 | 5,000円×教育92名 | |
| 退職記念積立 | 70,000 | | 70,000 | | |
| 有朋会基金積立 | 2,000,000 | 有朋会基金積立(令和2年度~) | 1,000,000 | 有朋会基金積立 | |
| 予備費 | 189,970 | | 413,079 | | |
| 合計 | 5,924,273 | | 7,149,079 | | |
| 令和2年度残高 | 937,069 | | | | |

会費納入者数表

| 年度 | 会費納入者数(人) | 増減 | 備考 |
|--------|-----------|------|---------------|
| 平成3年度 | 5,012 | | 以前は不明 |
| 平成5年度 | 5,316 | 304 | |
| 平成10年度 | 4,584 | -732 | |
| 平成13年度 | 4,321 | -263 | 文教卒業生 |
| 平成15年度 | 3,880 | -441 | |
| 平成17年度 | 4,090 | 210 | 喜寿以上も徴収 |
| 平成20年度 | 3,771 | -319 | |
| 平成22年度 | 3,182 | -589 | 師範卒無料 |
| 平成25年度 | 2,831 | -351 | |
| 平成30年度 | 2,756 | -75 | 130年記念誌発行 |
| 令和元年度 | 3,010 | 254 | 新学部生卒業 |
| 令和2年度 | 2,516 | -494 | 会費値上げ(2,000円) |

令和3年度本部役員会・代議員会



4月17日本部役員会



5月29日代議員会

本 部 便 り

新型コロナウイルスの発症が蔓延し、危機的状況が続いています。10都道府県に緊急事態宣言が発出され、さらに延長措置がとられるなど感染抑止、終息へ向けて官民挙げて懸命の努力がなされています。1日も早い終息を願いたいものです。

ところで、5月29日(土)に第1回代議員会を開き、コロナ感染防止のため、8月28日(土)の総会・懇親会を中止することにしました。2年連続の中止で誠に申し訳ありません。長寿祝については、検討中です。

追 悼 会

- 期日** 令和3年11月14日(日)
会場 願正寺 佐賀市呉服元町6-5
TEL: 0952-23-4001
日程 ○役員打ち合わせ: 9:00~
○受付: 9:30~
○追悼会: 10:00~11:20

※明治24年有朋会員による「総集會」が発足。明治26年当時の全会員128名の浄財で願正寺の一隅に石碑が建立。全会員参加による追悼会が開催されて以来、本会最大の年行事として継承されてきました。

第10回佐賀大学ホームカミングデーの開催

(※新型コロナウイルス感染の状況で変更があります。)

- 期日** 令和3年11月6日(土) 午後~
場所 佐賀大学本庄キャンパス
目的 佐賀大学の卒業生に母校佐賀大学を訪問してもらい、母校の現状を知り、恩師・学友との再会と交流を深め、今後の母校へのご理解とご支援をいただければ幸いです。
対象 卒業年等にかかわらず、全ての同窓生と本学の名誉教授
内容 大学の近況報告、講演、在校生によるアトラクション等
詳しくは、佐賀大学校友会のホームページ(URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>)の「お知らせ」をご覧ください。

申し込み・連絡先 佐賀大学校友会事務局
E-Mail: kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp
TEL: 0952-28-8390

会 費 納 入 の お 願 い

※会費納入は、下記の要領をお願いします。

- 令和2年度から本部年会費は、2,000円です。
- 特別会員(師範学校卒業)の方は、会費免除です。

【1】佐賀県内の学校勤務の会員は？

本部年会費と支部費を学校単位で徴収し、支部事務局へ納入ください。
支部費は、それぞれの支部で違います。(支部からの連絡あり)

【2】佐賀県内の学校勤務以外の会員及び退職会員は？

別添振込用紙で、本部年会費を郵便局口座に納入ください。
支部費は、それぞれの支部で違います。(支部からの連絡あり)

【3】佐賀県外会員の方は？

別添振込用紙で、本部年会費を郵便局口座に納入ください。

【4】卒業後6年経過の会員は？〈入学時10年会費納入者〉

卒業後6年経過の会員は、別添振込用紙で、本部年会費を郵便局口座に納入ください。
佐賀県内在住者は、上記【1】又は【2】又は【3】の方法で納入ください。

【5】別添振込用紙で納入される場合は？

「ゆうちょ銀行」や「郵便局ATM」で。

- ・口座番号 0-1730-8-35826
- ・加入者名 「有朋会」
- ・振込取扱票は「赤」の用紙をお使いください。
- ・できるだけ早期に納入ください。

昨年度、有朋会本部年会費の値上げにも関わらず、多くの会員の皆様から会費納入をいただき誠にありがとうございました。今年度もご協力のほどよろしくお願ひします。

有朋
第40号
発行日 令和3年7月1日(木)
発行者 有朋会会長 山田 直行
編集者 編集部長 江島 きよ子
事務局 事務局長 竹下 敬教

住 所 〒840-8502 佐賀市本庄町本庄1
佐賀大学菱の実会館 TEL 0952-23-1253
E-mail dousoukai@sadai.jp
HP <http://sadai.jp/alumni/>